

マイナンバーカードを取得しませんか

コンビニで各種証明書が取れるなど便利なことがたくさん



持っているとか何とか便利なマイナンバーカード。現在、市内で同カードを持っている人は約25%。市は、取得率向上のため、時間外や休日に申請を受け付けている他、カード申請の手伝いをしています。

マイナンバーカードがあるとこんなに便利

- ▷ コンビニエンスストアで住民票や戸籍、印鑑証明、所得証明などの各種証明書を取得できる
- ▷ 税金の電子申告が自宅できる
- ▷ 事前に申し込むと、健康保険証として利用できる(10月開始予定)

第2木曜と第4日曜は時間外も受け付け

市民課は、平日に申請が難しい人のために、時間外や休日に窓口を開庁し、カードの交付申請を受け付けています。カードの受け取りは、混雑を避けるため、事前に予約が必要です。

- 日時 ▷ 毎月第2木曜、午後5時～7時 ▷ 毎月第4日曜、午前8時30分～正午
- ※ 開庁しているのは柳川庁舎のみです。
- 【問】 同課市民係 (☎ 77・8472)

簡単 マイナンバーカード交付までの流れ

- ① 市役所で申請(15分程度)
運転免許証か健康保険証を持って、市民課か大和・三橋市民サービス課で申請(書類の記入や顔写真の撮影など)



※スマートフォンや自宅のパソコンからも申請できます。

- ② 通知書が届いたら、必要書類を持って交付場所へ
申請から1カ月～1カ月半後に自宅に届く書類に記載されている必要書類を持って、市民課へ行く
※大和・三橋市民サービス課で受け取りを希望する人は、交付希望日の2日前までに連絡してください。

- ③ 受け取り(15分程度)
本人確認後、暗証番号などを設定し、マイナンバーカードを受け取る



瑞宝双光章

児童愛、教育愛に満ちた人柄で 心豊かな子どもたちを育成



元小学校校長
田島 明久さん
蒲船津、70歳

※市内からは元九州経済産業局産業部産業課長の渋田純一さん(立石、70歳)も瑞宝双光章を受章されています。

大学を卒業後、昭和49年に福岡市の小学校に着任以来、城内小学校や柳河小学校で校長を歴任してきた田島さん。37年間、児童愛や教育愛に満ちた温厚な人柄で児童や保護者、地域の人々から厚い信頼を受け、教育に携わってきました。

昭和59年、田島さんは長期研修派遣教員として兵庫教育大学大学院で、教育心理学を専攻。特にカウンセリング理論を学んだ影響で、指導するときは、児童・生徒の心を大切にしながら、温かく見守り、善悪については厳しく指導し、最後まで見届けることを心がけたそうです。

コンピューターの学校導入が盛んになる中、平成9年に県教育センターの初代情報教育研究室長に就任。コンピューターを使える教員を育てるため研修講座を計画し、県内全ての学校でコンピューターが授業に活用されるようになりました。また、

校内ネットワーク構築のために研究室で作成した手引書は、その完成度の高さから、県内の多くの小中学校で、コンピューターネットワーク導入の参考になったそうです。

平成19年に校長として赴任した柳河小学校では、県小学校社会科教育研究大会の会場校となりました。田島さんは、児童の学力向上のため、基礎的事項の習得を徹底させ、児童の思考力向上のため、教員に授業中に考えるところと教えるところを意識させるなどの工夫を行いました。その結果、全国学力学習状況調査の社会科で、県内最高の成績を納めるほど児童の学力が向上しました。

「受章できたのは私ひとりの力ではなく、多くの人からのご指導やご支援、家族の協力のたまものだ」と感謝しています」と受章の喜びを話してくれました。

消費生活センター

ワクチン接種をかたる不審な電話に注意



新型コロナワクチンに便乗したトラブルが全国で相次いでいます。行政機関などになりすました不審な電話には注意してください。

【事例1】 「〇〇省です。お金を払えば、ワクチンを優先的に接種できます」という不審な電話があった。

【事例2】 「〇〇市役所です。ワクチンが余ったので、お金を払えば接種できます。」という不審な電話があった。

【事例3】 「ワクチン接種に必要なため、口座情報を教えてください」という不審な電話があった。

【アドバイス】 事例のような相談が複数寄せられています。金銭や個人情報などをだまし取る電話は、「〇〇省です」や「〇〇市役所です」などの言葉を使って近づいてきます。新型コロナワクチンの接種は無料です。また、国や市がワクチン接種のために個人情報や口座情報などを尋ねることはありません。少しでもおかしいと思ったら、消費生活センターに相談してください。

【問】 同センター(市役所大和庁舎1階商工・ブランド振興課内、午前9時～午後4時30分、☎ 76・1004)

知っていますか「COOL CHOICE」

地球温暖化防止のための賢い選択



「COOL CHOICE」とは、令和12(2030)年度に温室効果ガスの排出量を平成26(2013)年度と比べて46%(令和2年4月までの26%から上方修正)削減する目標を

達成するため、賢い選択をしていこうという国民運動です。身近な生活の中で、できることから始めてみませんか。
【問】 市生活環境課環境係 (☎ 77・8485)

身近な「COOL CHOICE」の例

● 宅配便再配達防止
宅配ボックスの設置や宅配業者が提供しているアプリを利用することで、再配達の手数を減らすことができます。再配達が減ると、配達用の車の走行距離が少なくなり、二酸化炭素の排出量や物流コストの削減につながります。

● COOL BIZ・WARM BIZ
クールビズは、夏の間、室温を28度に設定し、軽装などの工夫をすることで、ウォームビズは、冬の間、室温を20度に設定し、重ね着などの工夫をして快適に過ごす取り組みです。どちらも電気代の節約になります。

